



日本医療福祉生活協同組合連合会

東日本大震災支援ニュース No.26

(2011年3月29日 19時現在)

医療福祉生協連からののお知らせ

本日 物資支援センターから第3便が郡山医療生協へ
次回は4月2日を予定しています

29日、物資センターに以下の医療福祉生協から物資が届きました
医療生協さいたま、白根保健生協、尼崎医療生協、茨城保健生協

被災地の医療福祉生協の状況

○八戸医療生協



診療所の看護師をはじめすべての事業所の職員で3名ずつのチームをつくり、22日から31日まで新湊地区など被災地域を訪問し、血圧測定や健康相談などの支援を続けています。

海に面する支部は支部長を中心に被災の有無、安否確認などで動いています。特に一人暮らしの高齢組合員さんの安否を気遣い、自宅に泊まってもらった支部もあります。機関紙「さるかどした」を配りながら被害の状況を支部長に連絡し、対応している支部もあります。

(3月25日付、「さるかどした」号外より抜粋)

○福島中央市民医療生協

28日に上松川診療所嚙下部が川俣町の避難所(350名避難)で歯科支援。入れ歯を作るのに2週間ほどかかるが、転々と避難所を移動するために支援ができない方など、高齢者にとって避難所生活は負担が大きく、継続的な支援が必要となっています。歯の治療とあわせて嚙下困難な方への嚙下内視鏡を2件実施。歯ブラシ・レトルトのおかゆを送りました。

(3月29日付地震対策本部日報より一部抜粋)

○みやぎ県南医療生協

ライフライン復旧しつつあるが、ガソリンは緊急車両へ20リットルの制限が設けられている状態。20～30キロ離れた山本町は町全体が流され、住民が避難所生活している(職員の家族も含む)。避難所には医療支援が必要な状況で職員が土・日・月に支援に出かけている。19日に理事会を開催し、気になる組合員訪問を支部中心に開始した1年間かけて、全組合員訪問をする方向。

支援状況

○東信医療生協

3月29日から4月1日まで、検査技師1名と事務1名が第2次陣として仙台で支援活動を行います。(3月28日付ニュースより抜粋)

○群馬中央医療生協



前橋協立病院より宮城県へ派遣している医師1名、看護師1名、事務1名(第3陣)が、現地で活躍中(写真)。

(3月28日付け、ささえよう東北・がんばろう前橋協立 震災支援ニュースNo9より)

○医療生協さいたま

3月26日、13時58分、2,845gの元気な産声が埼玉協同病院分娩室に響きました。福島原発から5km圏内の双葉郡大熊町(双葉町の隣)から避難勧告を受け、郡山の叔父→埼玉の叔母と親類を頼って避難された女性が無事出産されました。

埼玉の叔母様のご近所に以前協同病院に勤務されていた人がいて「協同にかかるといいよ」と紹介され「優しくしてもらえてとってもよかった。すぐに生協に加入しました」とおっしゃっていました。

(3月28日付、東日本大震災対策本部ニュースNo.18より一部抜粋)

生協歯科は28日、計画停電が予定されていました。停電の時間を使って「さいたまスーパーアリーナに支援を」と歯ブラシ大人用300本・子供用300本、紙コップ200個などの支援物資とともに、歯科医師1名、歯科衛生士1名、歯科技工士1名が駆けつけました。

(3月28日付、生協歯科ニュースより抜粋)

明日より4月2日までの予定で、医師2名、薬剤師1名、看護師1名、事務1名が宮城県に医療支援へ（第7班）。

○川崎医療生協



川崎セツルメント診療所では、窓口に募金箱を置いて震災のカンパを集めています。そのなかに、お手紙が付いたものがありました（写真）。

27日に中原診療所建設委員会主催の健康まつりを行いました。「靴ずれがひどくバンドエイドないですか？」と年配のご夫婦が立ち寄られました。看護師が対応し、血圧チェックもしました。ご主人が「大津波でやられて、知り合いを頼っていわき市から来ている」、「経営していた工場が流され、再建には1億円がかかる」、「川崎の知り合いのお宅に3日いる予定が、2週間になっている」との話をされていました。

（3月29日付大震災対策ニュースNo.22より抜粋）

○津医療生協・四日市医療生協

三重県から震災支援の第3陣が29日未明に三重を出発し、宮城県・坂総合病院に向かいました。津医療生協から看護師1名・作業療法士1名、四日市医療生協から介護福祉士1名・ケアマネージャー1名の計4名。4月1日まで支援活動を行います。この間、義援金は総額134万4290円が集まりました。

（3月29日、津医療生協北村専務からのメール連絡）

○みなと医療生協

29日付で医療福祉生協連に2000万円の義援金を送りました。

○ヘルスコープおおさか

3月27日より医師1名、看護師1名が宮城県へ医療支援に出発。（3月28日付、東北地方・太平洋沖地震支援活動ニュースNo.10より）

○南大阪医療生協

救援募金が47万8348円集まっています。下着ショップを営んでいる組合員より子ども用下着を大量にいただきました。

（3月28日付、東日本大震災救援ニュースNo.2より抜粋）

○尼崎医療生協

医療支援隊の現地からのレポートを共有しています。介護福祉士からは介護職員の不足の声が出ているとのこと。

義援金は430万円を超えました。

(3月29日付東日本大震災救援ニュースNo.13より抜粋)

○広島中央保健生協

26日に開催された理事会ですべての理事が役員報酬から義援金を出すことを決定。また、支部や事業所で寄せられた義援金と一緒に被災地へのメッセージも届ける取り組みを行うこととし、具体化を検討しています。

3月30日(水)～4月4日(月)まで医療支援第2陣として医師1名、看護師1名、検査技師1名が宮城県に出発します。

(3月29日付支援対策ニュースNo.13より抜粋)

義援金総額 (3月29日現在)
3627万2950円 (26生協、個人、事業者)

医療福祉生協連は義援金口座を開設しています。

災害義援金口座は次のとおりです。

(専用口座)

三菱東京UFJ銀行(0005)原宿支店(店番627)

普通預金 0041240

日本医療福祉生活協同組合連合会 東日本大震災義援金口

※振込元に生協名を入れてください

寄せられた義援金は地方公共団体、公的機関等を通じて被災した地域への支援に使われます。義援金についてのお問い合わせは担当(椎野)までお願いします。

担当: 江本 (at_e@hew.coop)・丸山 (kj_m@hew.coop)

電話: 03(4334)1580、FAX: 03(4334)1585